

## おわりに

今回の受託研究にあたり、訪問を受け入れてくださった団体・企業およびご対応頂きました人事総務等のご担当者に改めて、感謝いたします。ありがとうございました。

また、アンケート調査および受託研究全体の成果発表の場としても位置づけられるフォーラムでは、熊本大学法学部鈴木桂樹教授にご助言、ご協力いただきましたことに、この場を借りて謝辞を述べさせていただきます。

今回の業務委託は大学生の男女共同参画推進の取り組みを進める上で、非常に有意義なものであった。また、理系分野の女性研究者を増やすための支援は、国立大学を中心に高等教育機関で進んでいるものの、今後私立大学や研究所を含め、社会に広げていくこともこれからの重要な課題として位置づけられている。したがって、大学コンソーシアム熊本が受託者として実施した意義は大きい。

どの時代でも「今時の若者は・・・」と若者は批判される。現代社会の若者は、比較すると「昔」より良い環境、悪い環境の中で生きていくかなければならない。大学は若者が社会に出て行く出口の教育機関として、良い人生を送ることができる知恵を授け、それを得るための教育機会を提供する必要があるだろう。あまりに実利的な教育ばかりでは大学教育の良さが失われるという批判もあろう。一方、だからこそできる、「人としてよく生きるためには」というような大きなテーマで学び考えるような機会を、学生に提供していかなければならないだろう。

今回のような受託研究、特に大学生による企業訪問調査のような取り組みは、熊本県内のワークライフバランスや男女共同参画推進を後押しにつながると思われ、継続化は有意義だと思われる。

平成 26 年 1 月

受託研究総括

熊本大学 政策創造研究教育センター・准教授 河村洋子  
(コンソ地域創造部会委員)